アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.77／ 2013 年 6 月

「アンテナ･伝播研究専門委員会からのお知らせ」第77号をお届けします.

【1】AP研委員長就任の挨拶

平成 25～26 年度のアンテナ・伝播研究専門委員会委員長を拝命しました，横浜国立大学の新井宏之です．まずはこの２年間，宇野 亨先生を委員長とする AP 研執行部の献身的なご尽力に心から感謝申し上げます.

AP 研は 今年設立から 47 年目となる歴史と伝統を有し，また，そのアクティビティは国内外で高く評価されています．新委員長として，責任の重さを認識するとともに，皆様と一緒に研究会活動を継続し，健全なる発展に努めたいと考えています.

近年の AP 研は，アジア地域の学会との連携による研究会の開催などを通して，ISAP 等の国際会議を世界のAP研究者が参加する第３極としての役割を果たせるよう努力しております．また，ワイヤレス分野のすそ野の広がりによって，様々な分野との交流が広がりアンテナ・伝搬技術が通信･放送といった従来からの分野にとどまらず重要な基盤技術となってきています.

このようなAP研の活動をさらに活発にしていくとともに,研究会設立から50年の節目に向かって，今後の発展の礎を確固たるものとなるように，アンテナと伝搬の基本的な理論に立ち返って，従来からの研究分野をさらに充実させながら，将来の可能性を切り開く新たな分野を研究会活動の中で立ち上げたいと思います．そのためにも，皆様には研究会への積極的な投稿をお願いし，本質を議論する場として研究会を利用していただきたいと思います.

これからの 2 年間，新執行部のメンバとともにお世話になりますが，宜しくお願い申し上げます.

【2】AP研副委員長就任の挨拶

このたびAP研の副委員長を拝命いたしました千葉工業大学の長敬三です．AP研では全国大会・研究会等で毎回多数の研究発表および議論が行われており，このような活発な研究専門委員会の副委員長を務めさせていただけますことを誇りに思います．一方昨今の通信業界を見ると,AP研に関わりの深い通信装置のシェアはヨーロッパやアジア諸国の伸びが著しく日本国内においても海外製品が主流になる勢いです．通信装置や端末のコモディティ化が進みコストが最重視される傾向もみえつつあります．このような環境の中，日本の競争力の確保において新しい技術の創出が求められており,AP研を含む日本の学会の役割が今後ますます重要になるものと思います．日本を代表するアンテナ・伝搬技術のスペシャリストが毎月参加しているAP研に特に企業の技術部門の皆様にも気軽にお越しいただき，ニーズの共有や最先端技術の習得・議論の場として使っていただければと思います．アンテナ・伝搬技術で困ったら“とりあえずAP研に行ってくる”，と皆様に思っていただける研究会となるよう微力ながら貢献していければと考えております．二年間よろしくお願いいたします.

【3】AP研幹事就任の挨拶

このたび AP 研幹事に就任することになりました名古屋工業大学の榊原です．5 年前の幹事補佐時代に,執行部の先輩方の様子を間近で見て,AP 研運営について大変勉強になりました．その一方で，AP 研を取り巻く環境が，当時から変化してきているため，それに見合った運営が必要となっております.

様々な研究分野の境界領域で，新規分野の開拓が進められており，学会もこれまでの分野区分にとらわれないフレキシブルな受け皿の準備が急務となっております．研究会や大会企画の

併催をはじめ，通信ソサイエティ内外の関連する研専との連携を積極的に進めます．さらに電子情報通信学会がアジアでイニシアチブを持ち続けるためには，アジア各国の会員に，自分たちの学会という意識を持ってもらえるよう,海外との連携の重要性が増してきています.今後，技報や大会での優れた発表を論文に推薦する国内での投稿件数拡大施策に加え，研究会海外開催や，大小国際会議の企画などでアジアの国際連携を進め，海外からの投稿・閲覧件数拡大も視野に入れます．それが，長期的に見て，AP 研活動の活性化，ISAP などの国際会議の成功，論文誌のインパクトファクター向上，会員増強につながり，学会全体の活性化に貢献するものと考えます.

AP研は今や，通信ソサイエティでも１，２を争う大きい組織となり，ソサイエティ，ひいては学会を先導していく立場にあります．これら上位組織の執行部とも風通しの良い関係を築きながら，会員の皆様が何度も参加したくなるような，充実感と楽しさを感じて頂けるAP研の運営を心がけたいと思っております．今後とも，AP研へのご参加と運営にもご協力をよろしくお願い致します.

【4】アンテナ伝搬基礎講座実施報告

毎年，年度の初めに，新しくアンテナの分野・研究室に配属された若手技術者・学生を対象に，アンテナ伝搬基礎講座を開催しております．今年も4月24日（水），25日（木）の2日間にわたって，横浜国立大学の教育文化ホール中会議室をお借りして開催しました．初めてアンテナの研究・開発を始めるのに必要な，電磁気学の基礎（横浜国立大学 新井宏之先生），アンテナの基礎（東京工業大学 廣川二郎先生），伝送工学の基礎（埼玉大学 木村雄一先生），基礎的伝搬と移動伝搬の基礎（同志社大学 岩井誠人先生）の4テーマを，アンテナ分野の一線でご活躍の各先生にご担当頂き，講義が行われました．いつもは学生の参加者が圧倒的に多いのに対して，今回は一般19名，学生28名と， 例年よりも一般からの参加者が多かったのが特徴的でした．毎年，春に関東地区で開催しております．また来年も多くの皆様のご参加をお待ちしております.

【5】7月AP研 企画講演のご案内

次回，梅雨が明け，真夏となる 7 月の AP 研は，夏の暑さから離れて，涼風吹き渡る北海道函館市のサン・リフレ函館で開催されます．7 月の AP 研は北海道で開催されることが多いですが，毎年，多くの発表申し込みを頂きます．今年は SAT 研との併催ということもあり，7 月 23 日（火），24 日（水），25 日（木）の 3 日間開催となり，企画講演も以下の通り目白押しです．皆様，ふるってご参加下さい.

・7/24 午後：AP 研アンテナの歴史委員会特別講演
　「マイクロストリップアンテナ回想録」鈴木康夫（東京農工大）
・7/24 午後：IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演
　「スマートフォンの現状」板倉仁嗣（NTT ドコモ）
・7/24 午後：SAT 研招待講演
　「最近の衛星通信地球局における技術動向」富士剛（三菱電機）
・7/25 午前：AP 研・SAT 研チュートリアル講演
　「衛星／地上共用携帯電話システムの開発と現状」辻宏之（NICT）
・7/25 午後：AP 研特別講演
　「Pattern Reconfigurable Antenna for WLAN」Prof. Young Joong Yoon (Yonsei Univ.)

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　長敬三（**千葉工大**）
E-mail ： ap_ac-chair@mail.ieice.org（**AP研執行部のメールアドレス**）
AP-NET ： **AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて**
AP研HP ： http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives ： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/